

# 三重版



定年退職を機にことし5月、津市半田に自前の卓球道場を開いた松生幸一さん(60)＝津市大園町。現役時代は銀行マンと全日本レベルの卓球選手という二足のわらじを履きこなし、現在は「日本一の選手を育てたい」と後進の指導に励んでいる。  
(三重総局・川村庸介)

## 松生卓球道場主

### 松生 幸一さん(60)＝津市大園町

卓球を始めたのは小学校五年生の時。父親が勤める警察署の道場に卓球台があり「柔道や剣道はだめでも、卓球なら大人にも勝てる」とのめり込んでいった。津高時代にはインターハイにも出場。卓球から離れた大学時代を経て百五銀行に入行後、「また卓球をやりたい」という気持ちでわいてきた」と競技を再開した。

銀行マンと一流卓球選手の両立は楽ではなかった。上司から「卓球なんかやったら支店長になれないよ」と忠告されたことも。当初は行内に卓球をやる

自らも卓球を続ける傍ら、後進の指導に励む松生幸一さん＝津市の道場で



まつお・こういち 1945(昭和20)年10月12日生まれ。69年に百五銀行に入行し、2005年に定年退職。03年には日本体育協会スポーツ功労賞も受賞した。卓球道場は、平日の昼間は一般愛好家にも開放しており、「料金はスポーツクラブよりも相当安いです」とPRする。問い合わせは松生卓球道場＝電059(246)7500＝へ。

道場は世界選手権でも使える規格の卓球台を十二台そろえ、一度に並べられる広さを誇る。「教えるからにはちゃんと育てたい」と設備にはこだわった。設備以上にこだわるのが選手の人形成だ。「人間性を磨かなければ、選手としても大成しない」と、特に子どもたちにはあいさつをはじめとする日常生活の態度を徹底して指導している。「僕みたいな人間でも日本一になった。才能豊かな子どもたちにもぜひ日本一の喜びを味わってほしい」と今日も道場に足を運んでいる。

# 日本一の選手育てたい

人がおらず、県職員の手相手になかった。「継続は力なり」を自らの競技者として活躍する傍ら、後進の育成にも励んだ。行がて、仕事でも頭取賞を受賞するまでになった。

代理時代は毎晩午後十時、十一時まで残業の毎日、練習時間として四回出場。一九九六年に確保もままならなかった。それでも「自分は卓球と仕事は全日本軟式卓球選手権ファイブを両立する」という信念は曲げない。念願の日本一の座に輝いた。

モ部員たちを鍛えた。卓球の力を生かして、昨年十二月の定年退職を機に私財をなげうって道場を開設した。三年後、年金をもらえようになつてから始めるという選択肢もあったが「技術が衰えないうちに」と一念発起した。

道場は世界選手権でも使える規格の卓球台を十二台そろえ、一度に並べられる広さを誇る。「教えるからにはちゃんと育てたい」と設備にはこだわった。設備以上にこだわるのが選手の人形成だ。「人間性を磨かなければ、選手としても大成しない」と、特に子どもたちにはあいさつをはじめとする日常生活の態度を徹底して指導している。「僕みたいな人間でも日本一になった。才能豊かな子どもたちにもぜひ日本一の喜びを味わってほしい」と今日も道場に足を運んでいる。

しょうぼうじやま 無所属 小森 とし子 (いなべ市北勢町)

三重総局(テ)	514-0027
津市大門7-15	
津センターパレス4階	
059(228)2121	
FAX	059(225)6213
四日市支局	059(352)310
FAX	059(353)723
伊勢支局	0596(23)351
FAX	0596(23)352
松阪支局	0598(21)614
FAX	0598(26)220
伊賀支局	0595(21)324
FAX	0595(24)431
尾鷲支局	0597(22)019
FAX	0597(23)077
鈴鹿通信局	059(382)031
FAX	059(382)399
桑名通信局	0594(22)023
FAX	0594(23)677
鳥羽通信局	0599(25)206
FAX	0599(25)209
熊野通信局	0597(85)226
FAX	0597(89)480
亀山通信部	0595(82)016
FAX	0595(82)097
名張通信部	0595(63)054
FAX	0595(64)014
菟野通信部	059(393)415
FAX	059(394)506
富田通信部	059(365)152
志摩通信部	0599(43)0154
FAX	0599(44)0028
紀伊長島通信部	05974(7)0724
FAX	05974(7)1487
久居通信部	059(255)5364
FAX	059(255)0192
大台通信部	0598(82)3108
FAX	0598(82)2225
新宮支局	0735(21)3737
FAX	0735(21)3738
ニュースは上の電話へ	
読者センター	052(221)0800
広告のお申し込みは	
広告局三重アドセンターへ	
津	059(221)2530

ご自宅葬・会館葬  
●24時間体制●

さいほうかく 斎奉閣

平安会館

桑名・富田・阿倉川・生桑・四日市中央  
菟川・鈴鹿中央・白子・津・久居・名張・伊賀

0120-999-444

おはようインタビュー

と話した後、一階の「西」語った。

し、四ツトラックいっばを決めていた。この日の